



オランダ王室や政府要人の利用も多く、数々の受賞歴を誇るオランダ随一の権威と風格を持つホテルである



ホテルの正面玄関を入ると、天井も含め純白に装飾された壮麗な吹き抜けのエントランスホールに導かれる



ミシュラン2ツ星(現1ツ星)を持つ「La Rive」は格調高いメインダイニングで、正統派のフランス料理を堪能できる



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト  
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健樹代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。

## インターコンチネンタル アムステル アムステルダム InterContinental Amstel Amsterdam

www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

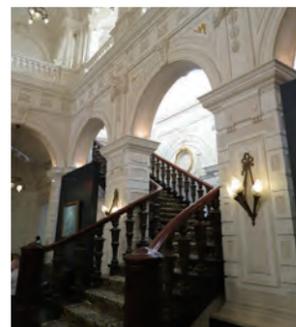
※本連載は毎月2・4週号掲載



「Amstel Hotel」は1867年にオランダ初の「グランドホテル」として創業して以来、欧州の王侯貴族の定宿であった。現在はIHG傘下の「InterContinental Amstel Amsterdam」の名称となっている



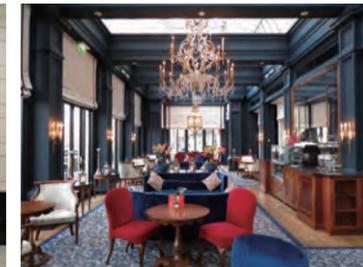
2階回廊から俯瞰したエントランスホール。上階へと続く華麗なステアケースはまさに宮殿の趣がある



先々代のコリアナ女王が銀婚式をこのホテルで催した「女王の階段」



風格あるコンシェルジュデスク。背後にゴッホの「ひまわり」を飾っている



華やかな雰囲気にもまれたラウンジ「Amstel Lounge」は地元のセレブで終始にぎわう



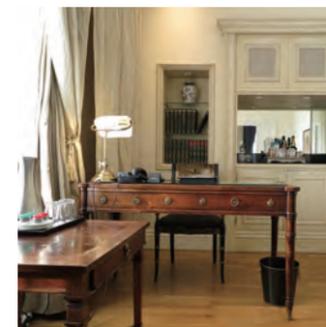
壮麗なボールルーム「鏡の間」(Mirror Room)は、かつての宮殿ホテルの面影をしのばせてくれる



スパ施設「The Health & Fitness Club」内にあるアムステル川に面したスイミングプール



約55㎡の広さを持つ「Executive Suite River View」のリビングルーム。アムステル川に面した気品ある部屋で、趣味の良いアンティーク家具が効果的に配されている



クラシカルなライティングデスク



コーナーに配置されたエレガントなベッドルーム

「Amstel Hotel」は1867年にオランダ初の「グランドホテル」として創業して以来、欧州の王侯貴族の定宿であった。世界中のセレブリティを迎え、数々の受賞歴を誇るオランダ随一の権威と風格を持つホテルである。ホテルの正面玄関を入り、吹き抜けのロビーから上階へと続く壮麗なステアケースはまさに宮殿の趣がある。これが有名な「女王の階段」で、先々代のコリアナ女王が銀婚式をこのホテルで催した際、この階段で公式記念写真を撮ったという。ホテルは2年間クローズして完全リノベーションを施した後、1992年に再オープンし、現在はIHG傘下の「InterContinental Amstel Amsterdam」の名称である。

アムステルダムの語源はアムステル川を堰き止めたダムに由来し、ホテルはそのアムステル川のゆったりした流れに威容を映している。オランダ王室や政府要人の利用も多いため、館内の装飾はノブレスな空気に満ちているが決して派手ではないインテリアだ。このホテルは Samuel Sarphati という医師で都市計画技師がオランダの誇りとして心血を注いで建てたものである。当初はもう1棟を連結したU字型を設計したが、最終的にアムステル川に沿ってI字型の小規模な「グランドホテル」に落ち着いた。館内には彼の功績を称えて銅像が鎮座している。

アムステルホテルは24のスイートと55のエクゼクティブ客室を合わせ、僅か79室という贅沢な客室構成である。筆者にアサインされた部屋は約55㎡の広さを持つアムステル川に面した「Executive Suite River View」で、趣味の良いアンティーク家具が効果的に配されている。レストランは充実しており、シュラン2ツ星(現1ツ星)を持つ「La Rive」は格調高いメインダイニングで正統派のフランス料理を堪能できる。隣接する「Amstel Brasserie」は、カジュアルスタイルのブラスリーだ。「Amstel Lounge」は華やかな雰囲気にもまれたラウンジで、地元のセレブでにぎわっている。スパ施設「The Health & Fitness Club」にはジム、トリートメント、サウナなどのほか、アムステル川に面して本格的スイミングプールも完備している。

アムステルホテルは決して大規模ホテルではないが、「鏡の間」など壮麗なボールルームをいくつも擁しており、かつての宮殿ホテルの面影をしのばせてくれる。また、客室へと続く気品ある廊下は幅がかなり広いことに驚く。これはイブニングドレスを着た貴婦人たちがそぞろ歩いても、ドレスの裾が壁に当たらないよう配慮されたと言われる。昔日の栄光がいたる所で感じられる珠玉のホテルと言える。



小原 康裕 渾身の写真集第二弾  
WORLD'S PRESTIGE HOTELS  
「世界の名門ホテル(仮称)」  
今春発売

世界最高ランクのホテルの  
美しい写真と解説にご期待ください。